下伊那西部シルバー便り
H28. 8. 5
No.17
発行
(公社)下伊那西部
シルバー人材センター
印刷
杉本印刷㈱

第六回定時総会開催

五月二十七日午後二時より阿智村コミュニティ館二階ホールにて定時総会を開催しました。

来賓として、湯澤飯田公共職業安定所長、熊谷阿智村長、小池平谷村長、川上平谷村議会議長、高坂阿智村議会議長はじめ関係各村の理事者、担当課長など多くの関係者のご臨席をいただき、会員百八十名のうち本人出席三十八名、委任状出席百二十一名の参集でした。

総会の議長には平谷村の佐々木二三夫会員が就任され、提案された議案等について討論が行なわれました。

議案は平成二十七年度事業報告、同決算報告と監査報告について事務局長から一括上程され、質疑を経て拍手多数で承認されました。報告事項は理事会の決議を経た事業計画及び収支予算等で一括報告され、全員一致で確認されました。

事業報告では契約高は四、三〇三万円で、前年度比九三．七％と発足以来初めて前年度を下回る結果に、就業延日数では八、六〇八人日でこちらも前年度比九九．四％と前年度を下回る結果になりました。会員は三月末で一八七名となり前年度比二名の減となっています。安全就業には特に心がけてきたところですが、二十七年度は傷害三件、損害二件の事故が生じ、発足以来初めてとなる会員の入院事例が発生しました。「安全は全てに優先する」という就業の鉄則を会員全体で共有し事故防止に努めましょう。

センターが公益法人化してから五年が経過したことから、今までの実績と反省を踏まえ、今後会員・役職員が共通の認識の下に適正な事業推進の指針とするための「中期五ヵ年計画」を初めて策定した報告がありました。

総会終了後、阿智村交番の田中正美所長による「高齢者のための交通安全」の講演を聞きました。冒頭、架空請求やオレオレ詐欺など特殊詐欺に注意するお話と、自動車の運転や歩行者として高齢者が気をつけなければならないことについてお話をいただき、皆さん熱心に聴いていました。

平成27年度の実績

会員数

会員数(28.3.31)	男　127人	女　60人	計　187人
地区別会員	上中関　9	中関　12	駒場　25
伍和　24	智里東　16	智里西　5	浪合　12
清内路　8	平谷　20	根羽　56	

事業実績(発注先区分別)

区分	受託件数	就業人員	契約金額(千円)
公共事業	85	2,079	8,301
企業等	346	4,377	20,688
家庭	502	1,411	6,479
独自事業	3	112	465
計	936	7,979	35,933

職群別就業実績

区分	延日人員	契約金額(千円)	割合
技術群	95	366	0.9%
技能群	366	2,972	7.4%
事務・管理群	35	165	0.4%
一般作業群	4,820	27,153	68.1%
サービス群	2,663	9,240	23.2%
計	7,979	39,896	100.0%

派遣事業実績

派遣会員数	就業延日数	賃金総額(千円)	契約金額(千円)
19	629	2,522	3,136

原点に立ち返った活動を

理事長　原　英行

当センターは発足から七年半、公益社団法人になって五年を経過しましたが、シルバー人材センター事業は会員の皆さんの努力と行政・企業・家庭など地域のご支援により定着してきた感もあります。しかしこの一年間の状況を顧みますと、発足当初から大きく変わってきています。

契約高を見ますと右肩上がりから、単発的な仕事の多寡による要因ではありますが、初めての対前年度割れとなりました。昨年四月から派遣事業も取り入れていますが、まだ試行段階から抜け出せてはいない状況です。団塊の世代が六十五歳を超えて雇用の場から引退してきていますが、入会会員は思いの外少なく、希望する仕事も多様化してしている状況から、派遣による就業も積極的に取り組んでいかなくてはなりません。

また、高齢化に伴う農作業、空き家になった家屋や土地の維持管理、高齢者福祉など、一件一件は細かな仕事についても、会員による近隣での仕事の開拓・取り次ぎも重要です。

就業中の傷害事故について、初めての入院を伴う事故が発生しました。損害事故でも刈り払い機による初めての石飛ガラス破損事故も見られました。経年に伴う体力の低下を認識して、安全就労により一層取り組んでいくことが求められます。

このようなことから、四月には初めての「第一次中期五ヵ年計画」を策定しました。副題にもあるように〝地域の担い手として信頼されるシルバー人材センターをめざして〟原点に立ち返った活動を、会員・役職員一致して進めていくことを切望いたします。

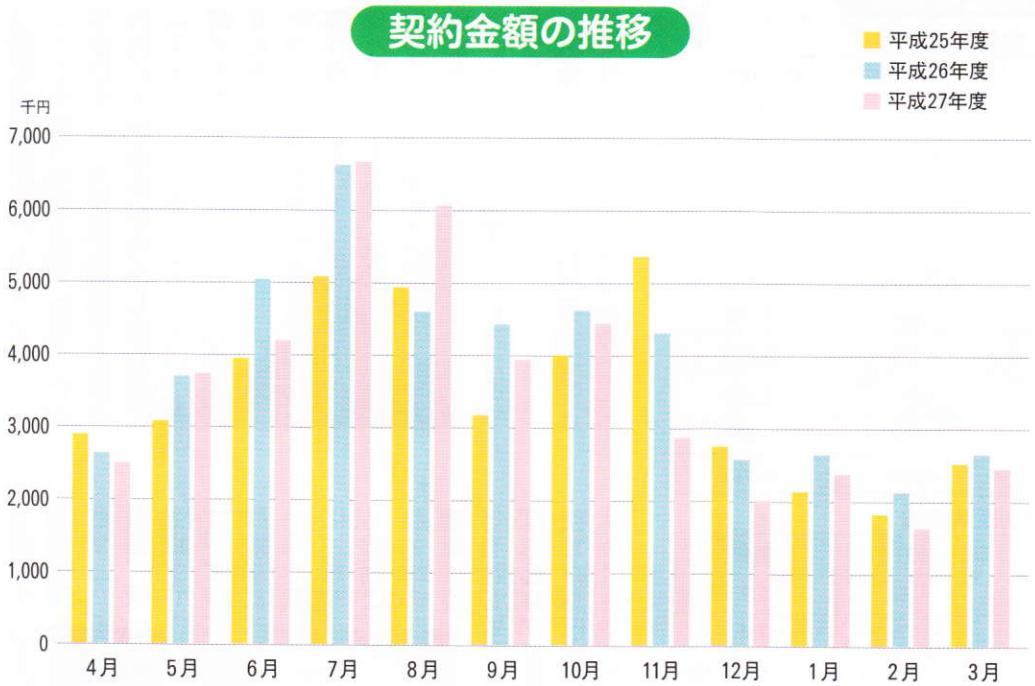
県連合会定時総会開催

公益社団法人長野県シルバー人材センター連合会の平成二十八年度定時総会は、六月三日長野市において開催されました。議事に先だち、シルバー人材センター事業の運営に顕著な貢献があった四名の表彰が行なわれました。

更埴地域シルバー人材センターの関口幸男理事長が議長に就任し、定款の一部改正、平成二十七年度事業・決算報告、役員の選任、平成二十七年度補正予算・平成二十八年度事業計画・予算の議案が審議・承認されました。

役員の改選では、中島忠徳会長、小林勝人理事が退任され、新たに酒井　登会長(長野)、大井　伯一理事(佐久)がそれぞれ就任しました。総会後、退任された中島会長には酒井新会長から表彰状が授与されました。

契約金額の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
H25年度	2,878	3,063	3,954	5,070	4,923	3,161	3,992	5,361	2,791	2,128	1,816	2,596	41,732	—
H26年度	2,628	3,687	5,035	6,608	4,595	4,420	4,612	4,302	2,639	2,635	2,124	2,662	45,947	1.10
H27年度	2,517	3,739	4,287	6,639	6,081	3,928	4,434	2,830	2,005	2,391	1,730	2,451	43,032	0.94

※H27年度は派遣を含む。

お世話になっています 発注者のご紹介

肥後観光農園　肥後　進

座禅草や福寿草の群生地がある阿智村伍和で、桃・りんご・梨・さくらんぼ・ブルーベリー・柿などの果樹を中心に三ヘクタールで栽培しています。

家族経営ですので忙しいときは外部の方にお手伝いをお願いし、シルバー人材センターさんへも七年ほど前からお世話になっています。

シルバー人材センターさんには、梨・りんごの受粉作業、高所作業車による新ワイ化の誘引作業、桃の摘蕾、桃・梨・りんごの摘果作業、梨の南水・洋ナシの袋掛け、ブルーベリーの収穫など多種多様な作業をお願いしています。

毎年慣れた方が来て頂けるので、作業内容を理解しており、能率よく作業をしていただき助かっています。果樹農家も高齢化で人手が足りませんので、これからも引続きお世話になりますがよろしくお願いします。

各果物の収穫と出荷は、さくらんぼは六月中旬から、りんごは八月中旬の「つがる」から「サンふじ」、なしは八月下旬の「幸水」から「南水」です。各種果物を宅配便で全国へ発送していますのでご利用ください。

【編集部注】

肥後観光農園では、りんごの木のオーナーも募集しており、現在トヨタ車体様から五十組と愛知方面の百組の方がオーナーになっているとのことです。りんごは全品種葉を取らない完熟りんごです。りんご狩りはいつでも出来るとのことですので、南アルプスを眺めながらのりんご狩りはいかがでしょうか。

会員の広場

派遣会員

石原　清志
（根羽村）

シルバー人材センターにお世話になって早や五年になります。

五十九歳の時会社が閉鎖となり、その後どうしようか迷っている時に声を掛けていただきました。一年目はスキー場、草刈り等の仕事を行い、二年目になってネバーランドの愛知県方面への配達を紹介していただきました。ネバーランド工場内の商品の置き場所、トラックへの積み込み方法、十一ヵ所程ある配送先を覚えること、納品・返品伝票の処理等やることが多く、一・二年は汗ダクで回っていました。

昨年度から派遣会員として働いていますが、最近は店の方々にも覚えていただき声を掛けてくれるようになり、またお客様からも「根羽の方行ってきたよ」とか話しかけてもらい楽しく回ってきます。

会社勤めの頃は、家と工場の往復だけで村の人達との関わりは少なく、どこの人かもわかりませんでした。今はシルバーの仕事でいろいろの人と関わりあっており、これからも多勢の人と関わって仕事が出来ればよいと思っています。

原　利治
（阿智村智里東）

昨年の四月にシルバー人材センターに登録しました。最初は、高齢者の病院への送迎や、草刈り作業を主にやっていました。以前仕事の関係で県内外を飛び回っており、また家の農作業などでシルバーの仕事が出来ない時もありました。今年の三月に、事務局から化成工業の配送の仕事をやって貰えないかと話しがありました。勤務日数や仕事の内容も不安でしたが、会社へ訪問して内容を聞いたところ、トラックでの材料の運搬やフォークリフトを使用しての作業ということで、経験もあり出来そうなのでやってみることにした。

フォークリフトは動かせたが免許が無かったので取るように言われ取得しました。現在は月曜から金曜まで一日平均四時間の勤務で大変ですが、楽しくやらせていただいています。

地域の担い手として信頼されるシルバー人材センターをめざして

第一次中期五カ年計画の概要

1　計画策定の主旨

下伊那西部シルバー人材センターは二十年十一月発足し、二十三年四月公益法人に移行して五年を経過し、シルバー人材センターとしての基盤が確立しつつありますが、会員の確保、発注先の確保、会員の高齢化など今後の事業を運営するにあたり改善すべき点があります。

このため、今までの実績と反省を踏まえ、会員・役職員が共通認識の下で今後のシルバー事業の健全な運営をするための指針である「中期計画」を初めて策定しました。

2　計画の期間

平成二十八年度から平成三十二年度の五年間

3　計画の目標数値

(1)会員数

当センターの会員加入率は全国平均に比べ非常に高いので、今後の事業量や高齢者の将来人口を推計し、毎年1%の純増を確保して目標年次の平成三十二年度には、会員数二百名を目指します。

(2)受注件数・契約金額・配分金

発足以来、契約額は順調に増加してきましたが、平成二十七年度は初めて契約額の減少が見込まれ、今後の経済状況も不透明な状況なため、これらを踏まえ毎年3%の増を見込み、目標年次の平成三十二年度には受注件数千百二十件、配分金四千六百二十万円、契約金額は派遣を含め五千百七十万円を目標とします。

(3)就業率

就業率は、各年度100%を目指します。

4　基本目標

(1)会員の増強と資質の向上
(2)就業開拓の推進
(3)安全就業の推進
(4)適正就業(法令順守)の推進
(5)広報啓発活動の推進
(6)組織体制の充実
(7)健全な財政運営
(8)事務局体制の充実

目標値　　単位：人、件、千円

区分	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
会員数	192	194	196	198	200
受注件数	1,000	1,030	1,060	1,090	1,120
配分金	4,100	42,300	43,600	44,900	46,200
契約額	45,900	47,300	48,700	50,200	51,700

シルバー人材センター法制化三十周年

平成二十八年度はシルバー事業が法制化されて三十年の節目の年になります。これを記念して、例年実施しています十月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間において、全国のシルバー事業関係者が連携して集中的に社会貢献・周知広報の行事を展開することになりました。

実施内容については、全国いっせい無償ボランティアの実施、シルバーフェア・経験交流会等の開催、役職員や会員による周知普及活動等の実施などが予定されています。

当センターにおいては、十月十五日㈯を中心にボランティア活動を予定しています。実施時期になりましたら詳細を周知しますので、多くの会員の皆様の参加をお願いします。

ボランティアのみなさん ありがとうございました

根羽村保育所では毎年六月、保護者に環境美化の作業をしていただいています。しかし、保護者が減り、以前のように作業が出来ない状況でした。

そんな時シルバー人材センターの方からボランティアのお話をいただき、二年前から一緒に作業をしていただいています。

今年は六月十一日㈯晴れの暑い日となりましたが、十八名もの大勢の皆さんがご参加くださりました。園庭の草取りや草刈りをしていただき、皆さんのおかげで、園庭の端まですっきり気持ち良くなりました。

翌月曜日、登園してきた子ども達は綺麗になった園庭を見てびっくり！「何で？」「庭違っている！」と歓声をあげ大喜びでした。

シルバー人材センターの皆さんに綺麗にしていただいたことを話すと、みんな張り切ってお礼の手紙を描いていました。

多くの方々に愛情をかけていただきみんなとても幸せだなと思います。ありがとうございました。

「見逃すな　ヒヤリで済んだ　あの経験」

安全就業全国統一スローガン（H26年から28年度）

平成28年度県連合会
「安全・適正就業対策推進の重点目標」

《目標》　“危険ゼロ”
1．安全ミーティングの完全実施
2．安全装備使用の徹底
3．健康診断受診及び健康体操の奨励
4．交通事故防止

平成27年度　下伊那西部シルバー人材センター事故発生状況

平成27年度の事故件数は5件（物損事故2件、傷害事故3件）発生しています。今一度初心に帰り安全な自己管理と確実な安全就業に努めましょう。

平成27年度　事故概要

発生日	事故の型	就業内容	事故の状況	傷害・損傷	傷害・損害の程度
H27.7.10	物損	立木伐採	切った木が畑へ倒れトウモロコシに被害	農作物	損害額 18,000 円
H27.7.10	物損	除草・草刈り	飛石が住宅のガラスサッシに当りガラスを破損	ガラス破損	修理代 13,986 円
H27.11.4	傷害自損	立木伐採	立木に掛かった木に切り込みを入れたところ突然木が倒れ木の枝で背中を強打	腰椎圧迫骨折	入院 41 日 通院 2 日
H27.11.19	傷害自損	落葉収集作業	集めた落ち葉をトン袋へ入れ引きずっていたところ、袋が傾いたので直そうとしたところバランスを崩し転倒	胸椎圧迫骨折	入院 17 日 通院 6 日
H28.1.20	傷害自損	自動車運転	トラックで材料運搬中　車から降りたとき道路が凍結していて転倒	手首骨折	入院 4 日 通院 15 日

安全・適正就業パトロール

7月の安全・適正就業推進月間に合わせ、根羽事務所管内の安全・適正就業パトロールを行ないました。現場は根羽村榊の国道153号道路上のツツジ植栽地内と、根羽村森沢の旧マレットゴルフ場の草刈りで、作業員はそれぞれ２名、３名でした。

点検した結果、ヘルメット・防塵メガネ・服装・足仕度等は良好でした。また、当日は暑い日でしたが、皆さん各種飲料水を用意し熱中症対予防に備えていました。

斜面のネット際の作業で肩掛けベルトが邪魔になるとのことで使用してない会員、作業を効率的にとのことで刈り払い機に安全カバー取り付けてない会員がいました。

パトロール参加者からは、国道の現場ではバリケードとカラーコーンを設置していたが、飛石防止ネット等を設置したほうがよい。シルバーの看板を背負っての仕事なので、意識を持って仕事をするため桃太郎旗の設置を。自分の体力にあった軽量の刈り払い機の使用、草専用の替え刃や替え刃の用意、複数台の刈り払い機を用意などプロ意識が高かったなどの感想がありました。

肩掛けベルトの使用と安全カバーは、自分の身を守るための装置ですので、作業効率より自己の安全を優先に使用してください。

就業前ミーティングで現場の危険箇所の確認、身支度の点検、機械器具の点検、作業内容の打合せなどを行い安全就業に努めてください。

あなたもシルバーの会員になりませんか

現在、約百九十名の会員の皆さんが当センターの会員として登録し活躍しています。

仕事を通じて生きがいのある健康な生活を送りたい方、長年培った経験・技能を活かし地域に貢献したい方等、センターに会員登録しませんか。

ご希望の方は、阿智本所または根羽事務所までお問い合わせください。

（☎阿智 四三二二四四・根羽 四九二二〇八）

研修・親睦旅行について

センターでは、先進シルバー視察研修と親睦旅行を会員互助会と共催で左記の日程で実施します。追って参加者の募集をしますので、多くの会員の参加をお願いします。

・実施日　十月二十六日～二十七日
・研修先　愛知県内のシルバー人材センター（予定）
・宿泊地　日間賀島

新入会員の紹介

櫻井　菊壽　阿智村清内路　四月
松井　義明　阿智村駒場　四月
林　恵美子　阿智村駒　四月
櫻井　兵司　阿智村清内路　四月
園原　利秋　阿智村伍和　四月
片桐　重子　根羽村　四月
上甲　智子　阿智村駒場　四月
石原　貞臣　根羽村　四月
塚田　哲夫　平谷村　六月
伊藤　壽芳　阿智村春日　七月
大滝　幸子　根羽村　七月
田中　悦子　阿智村智里西　七月

よろしくお願いします。

就業報告書の提出についてお願い

「就業報告書」は、受注ごとに一枚の用紙を使用して、**単発の仕事は終了後三日以内に、継続の仕事は翌月三日までに**事務局へ提出して下さい。提出が遅れると発注者さんへの請求が遅くなり、配分金の支払いにも支障をきたしますので期日厳守でお願いします。

編集後紀

最近の株価の下落に伴い年金財源に五兆円もの損失が出たと言われています。我われの年金は今後どうなるのでしょうか。

まだまだ暑い日が続きます。水分・塩分補給をして熱中症対策に留意され安全就業をお願いします。